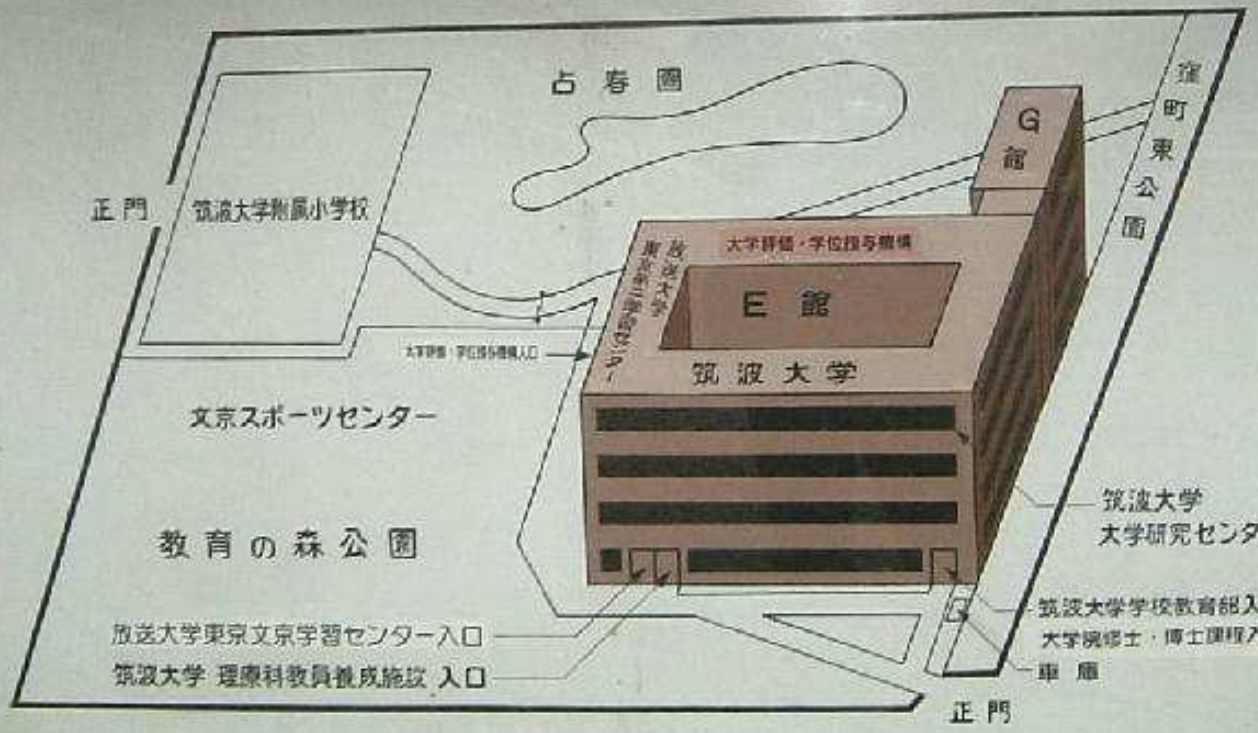
筑波大学

筑波大学大塚地区案内


占春園
G館
窪町東公園
正門
筑波大学附属小学校
大学評価・学位授与機構
E館
筑波大学
文京スポーツセンター
教育の森公園
筑波大学
大学研究センター
筑波大学学校教育部入口
大学院修士・博士課程入口
車庫
放送大学東京文京学習センター入口
筑波大学 理療科教員養成施設 入口
正門

教育の森公園案内図

この公園は、東京教育大学のキャンパスでしたが、昭和53年3月末に閉学となったため、跡地を区が国から払い下げを受け、公園として整備したものです。

この公園のテーマは、「水と緑の防災公園」であり、平常時は区民の憩いの場として、ご利用いただくと共に、災害時は広域避難場所として、広く区民の皆さんにご利用いただくものです。

位　置	文京区大塚三丁目29番
規　模	21,171.43平方メートル
開園月日	昭和61年10月13日

文京区役所
電話（812）7111

占春園（せんしゅんえん）

文京区大塚3-29

この辺りは、幕末までの200年ほどの間、徳川光圀の弟を藩祖とする陸奥守山藩松平家の上屋敷の地であった。占春園は、この屋敷内にひらかれた庭園の名残りである。

「林には鳥、池には魚、緑の竹と赤い楓、秋の月、冬の雪」と、四季それぞれの庭の美しさでその名が知られ、当時の江戸三名園の一つに数えられていた。

明治36年（1903）、東京高等師範学校（戦後の東京教育大学、筑波大学に改組）が、湯島からこの地に移り、占春園は、校地の一部になった。現在は、筑波大学附属小学校の自然観察園として、同校が管理し、区民にも公開されている。

文京区教育委員会　平成3年3月